

## （震災の仕事と生活に対する影響）

～この度の東日本大震災で被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。～

この度の東日本大震災の発生以降、被災地に限らず全国的に、人々の意識や生活に様々な変化が生じました。また、今夏には、節電対策に取り組む必要から、多くの企業が、労働時間の短縮や勤務日の変更等の対応を求められました。その結果、人々の働き方や生活にも様々な影響を与えました。

今回、そのような企業の取組に焦点をあて、働き方の見直しに取り組む事例を紹介し  
ます。

本項では、企業の取組について、以下のような整理をしています。

節電対策としての仕事の在り方の見直しについて

勤務時間等の「時間の変更」と、在宅勤務などによる「勤務場所の変更」

の2つの側面から捉える。

従業員の生活の充実に向けた支援について

主に、「家族、友人等との時間確保」の側面と「ボランティア等への参加」の側面から捉える。

そのほか、子育て・保育に関する動きについても紹介します。

【事例2 日本ユニシス株式会社】



在宅勤務制度によりワークスタイルの選択肢を増やすことで、震災による通勤困難者に対しても安心して働くことのできる環境を確保した。

企業概要	取組の内容
<p>●業内容 〔コンサルティングサービス、IT ソリューション、アウトソーシングサービス、サポートサービスおよびシステム関連サービスの提供／コンピュータシステム(ハードウェア、ソフトウェア)の販売〕</p> <p>●従業員規模 〔4、539名(グループ9、417名 2011年3月31日現在)〕</p> <p>●売上高 〔2、529億89百万円(2011年3月期)〕</p> <p>●会社概要 (東京都江東区豊洲1-1-1)</p>	<p>1 在宅勤務制度の概要</p> <p>(1) 目的 「日本ユニシスグループ人事理念」は「社員が充実感と誇りを持って、安心して働くことのできる環境を提供する」ことにあります。 育児や介護のために優秀な人材が離職せざるを得ないケースや、様々な仕事観やライフスタイルを持った人材に対してワークスタイルの選択肢を増やすことで、安心して働くことのできる環境作り、社員のワークライフバランス向上に貢献できるものと考えています。</p> <p>(2) 対象 全社員を対象とするが、ワークスタイルを変えるという観点から次の三つの適用基本方針を前提としています。一つ目は、主たる勤務場所を自宅とすることです。具体的には1週間の営業日数である5日の内、3日以上、あるいは1ヶ月の営業日数の5分の3以上で在宅勤務を実施しています。主たる勤務場所を自宅にすることで、業務の進め方や成果の把握、報告といった働き方自体を変える必要が生じます。二つ目は、成果物が明確に定義できる業務に適用、三つ目は成果管理の指標を設定して定期的に報告することとしています。</p> <p>(3) 経緯 2008年6月より正式に制度適用を開始し、当初の適用者数は約30名でしたが、現在は約100名となっています。その後、事業場外労働の、みなし労働時間制に基づく裁量労働制を適用するに至りました。 また、2009年に新型インフルエンザ感染が拡大した際、家族や年少の子供がいる社員において託児施設が休業となったケース、あるいは客先ルールにより出社できないケースが発生しましたが、このようなケースでは、従前より、USB型</p>

〔東証1部上場、  
資本金 54 億  
8317 万円 設  
立 1958 年 3 月〕

認証キーである「SASTIK®」デバイスが全員に配付されており、社外から社内システムにリモートアクセスできる環境が整っていたため、メールサービスや社内 Web アプリケーションを利用した簡易的な在宅勤務による事業継続が可能となりました。

## 2 在宅勤務制度と節電対策

事業場の分散、サマertime（始業時間繰上げ）の実施、残業禁止日設定、休日シフト、在宅勤務の実施と、多くは電力需給逼迫に対する節電策として実施していますが、実はこれらの施策というのは、生産性向上に密接に絡んでいます。つまり各種の節電施策を行うことで、図らずも生産性向上という課題に取り組む好機となっており、それによる顧客へのサービス品質の向上にも寄与できればと考えています。

そして、在宅勤務が浸透・拡大することは、事業場分散等、他の施策実現にも繋がるものであり、ワークライフバランスの実現に留まらない効果があると考えています。在宅勤務制度のさらなる浸透のためには、インフラ整備と雰囲気作りの二面に対応することが必要です。インフラについては、フリーアドレス、モバイル PC、業務のペーパーレス移行で、基本的には在宅勤務実施の前提が整うこととなります。制度適用の雰囲気作りについては、社内に向けた情報発信を粘り強く続けることによる制度の周知や啓発が必要です。



<http://www.unisys.co.jp/csr/>





【事例7 株式会社エム・テック】

震災による東北地方の資材不足、工程管理の変更、節電対策等を余儀なくされた工事現場などにおいて、効果的な取組を行った例

企業概要	取組の内容
<p>●事業内容 〔土木・建設、造園工事の企画・管理など〕</p> <p>●従業員規模 〔社員 430 名〕</p> <p>●売上高 〔4 億 1,637 万円〕</p> <p>●会社概要 (本社所在地) 〔東京都港区新橋 4 - 24 - 8 2 東洋海事ビル〕</p>	<p>東日本大震災の影響により、社員それぞれの生活に被害が発生しましたが、勤務時間のローテーションの実施と、お互いの助け合い精神の実践、効果的な節電を実施することにより工期遅延などのマイナス要素を発注者からの暖かいご理解などのプラスとすることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本支店の人数：約 20 名</li> <li>・対象となった東日本及び首都圏等での社員数：約 200 名</li> </ul> <p>1 現場における改善活動</p> <p>東北地方での生産資材について調達等での遅延、電力の不足等の懸念が発生し、各現場とも工程管理等に影響が発生しましたが、時間を決めて効果的な節電活動の実施、現場にマッチした改善活動を実施することにより、発注者のご理解と協力を戴いて、各現場とも無事に工事を竣工させることが出来ました。今後とも、こういった種々の改善活動を平常時においても進めていきたいと考えています。</p> <p>2 ボランティア活動</p> <p>そのほか、勤務時間に配慮した通常勤務を交代でサポートする等のローテーションを効果的に実施することにより、平成 23 年 4 月から 5 月の間、陸前高田市の避難所で生活されている方々を温泉地までバスでお連れするボランティア活動を北日本支店のメンバー(男性 3 名、女性 2 名)により実施しました。</p> <div data-bbox="799 1639 1347 1957" data-label="Image"> </div>

＜その他関連する動き＞～子育て・保育に関する動き～

【事例 10 東京都板橋区】

夏期の節電対策による企業の就業時間の変更などに伴い、区立保育園で休日保育を実施した例

区の組織	取組の内容
<p>●人口 (H23.9.1) [535,884 人]</p> <p>●所管課概要 〔子ども家庭部 保育サービス 課〕</p>	<p>1 夏期の節電対策による企業の就業時間の変更などに伴い、区立弥生保育園で休日保育を実施しました。</p> <p>(1) 実施期間：7月から9月の日曜日（計13回）実施 (2) 保育園の定員等</p> <p>☆通常時</p> <p>①定員 117人 ②受入年齢 生後6か月～就学前 ③保育時間 7:15～18:15（延長保育 18:15～19:15）</p> <p>☆休日保育</p> <p>①定員 なし ②受入年齢 就学前までの児童（ただし、申込時に保育施設に通園している区内在住の児童） ③保育時間 7:15～18:15</p> <p>2 実施に当たっての工夫（事前の面接及び情報の管理） 事前に連絡をいただき、当該保育園長との面接を行い、健康状況や生活状況等を確認した。 また、その際に保護者から「休日保育児童票」を記入してもらい、情報を管理しています。</p>

休日保育児童票																				
親近機関中の保育園名:	保育園	休日保育実施予定園名:		保育園																
住所	生年月日	年	月	日	生	年	月	日	生	年	月	日								
児童氏名																				
※在子手帳などを必ず記入してください。																				
<input type="checkbox"/> 手帳:																				
<input type="checkbox"/> 出産の状況																				
<input type="checkbox"/> 正産科分娩・その他(帝王切開・吸引・その他( )) <small>分娩( )</small>																				
<input type="checkbox"/> 子どもの状態: 健康・病気 <input type="checkbox"/> 身長: cm 体重: kg																				
<input type="checkbox"/> 栄養的注意事項																				
<input type="checkbox"/> アレルギー: 有 (内容: 喘息・じんましん・皮膚炎・その他( )) <small>無</small>																				
<input type="checkbox"/> アレルギーによる発熱: 有 (発熱名: ) <small>無</small>																				
<input type="checkbox"/> その他(内容: ひきつけ・熱発けいれん・他( )) <small>無</small>																				
<input type="checkbox"/> 懐かしい手帳または別の手帳をお持ちですか <small>ある( )</small> <small>ない</small>																				
<input type="checkbox"/> 尿量や排便の有無のことで、検尿している期間や施設がありますか <small>ある( )</small> <small>ない</small>																				
<input type="checkbox"/> 離乳食は終了していますか <small>終了している</small> <small>終了していない</small>																				
<input type="checkbox"/> 予防接種(実施済のものに口をつけてください)																				
<small>ツバクルガシ・BCG・ポリオ・三種混合(1回・2回・3回・追加)</small> <small>麻疹(はしか)・流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)・麻疹(三日はしか)</small> <small>日本脳炎(1回・2回・追加)・水痘(みずぼうそう)</small>																				
<input type="checkbox"/> おかたごとのある病気やけが(おかたごとがあるものに口をつけてください)																				
<small>麻疹(はしか)・水痘(みずぼうそう)・麻疹(流行性耳下腺炎(おたふくかぜ))</small> <small>百日咳・診断確定済定・中耳炎(若・虫)・ヘルニア・嚥食不良</small> <small>脱臼(脱臼: )・ひきつけ・もも骨痛・肝炎・手術(部位: )</small> <small>検査( )</small>																				
<input type="checkbox"/> その他																				
お子さんの気になることや願、送迎やませ身、トイレサイン等をご記入ください。																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">がかりつけの病名・施設等が</td> <td style="width: 15%;">名</td> <td style="width: 15%;">姓</td> <td style="width: 10%;">印</td> </tr> <tr> <td>ありましたらご記入ください</td> <td colspan="3">印</td> </tr> </table>													がかりつけの病名・施設等が	名	姓	印	ありましたらご記入ください	印		
がかりつけの病名・施設等が	名	姓	印																	
ありましたらご記入ください	印																			

3 今後の子育て家庭への具体的な支援について

今回の休日保育をはじめとした、様々な保育サービスを実施して、保護者の多様化する保育ニーズに応じていきます。

これにより、仕事と子育ての両立支援を推進し、子育て家庭を支えています。